

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その62

第47回定期総会記念講演

今の私たちの責任を自覚

理事 打出 喜義（金沢市・婦人科）

事故後10年 明らかになる欠陥

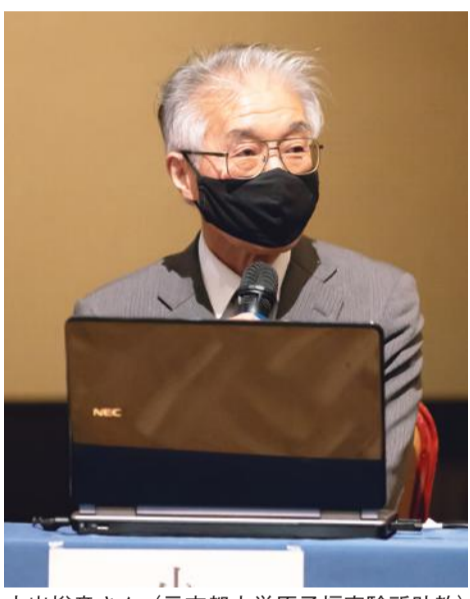
（4月号のつづき）  
第一部の後、会場から「甲状腺がんなど、原発事故の健康影響を診る甲状腺検査を定期的の実施するためにどうしたらいいか」と福島の子どもの健康を心配する声や、「漁業関係者、観光業者、農業生産者など、住民（もちろん被害者）同士が攻撃し合

う方向になっているのは、とても辛いです」と汚染水廃棄にまつわる声、福島原発の今の状況に関しての質問が多く寄せられ、それらに対する回答と第一部講演内容の補完で進められた。

まず小出さんが、原発事故から約10年経った2021年2月13日、福島



会場の質問に答えて、様々なテーマでディスカッションを行った（3月14日・ホテル金沢）



小出裕章さん（元京都大学原子炉実験所助教）

次いで、福島の子どものための「甲状腺がんスクリーニング検査が行きすぎだ」との細野豪志衆議院議員と小泉進次郎環境大臣の国会質疑映像が流されました。この国会質疑に対して、菅谷さんは甲状腺がんの専門医の立場から、子ども甲状腺がんは稀だが悪性度が高いので、早期発見・早期治療が必要との見解から否定的立場を表明されました。また、チェルノ

甲状腺検査と経過観察は必要

「原発過酷事故」再発にも繋がることになるのですが、なぜか全くと言ってよいほどこうした現状は報道されていません。なぜなのでしょう。

おしどりマコ・ケンさんの取材からは、福島と接する茨城県の北部地域でも子どもの甲状腺がんが出ています。福島県以外の汚染地域でも検査の必要があるとの提言もありました。子どもたちの甲状腺被曝線量の開示請求後に明らかになったのは、バックグラウンドが高く測定できなかったとの記載であり、この事実からすればベラルーシのように長期にわたる子どもたちの甲状腺の経過観察が必要でありましょう。



菅谷昭さん（松本大学学長、元松本市長）

「原発過酷事故」再発にも繋がることになるのですが、なぜか全くと言ってよいほどこうした現状は報道されていません。なぜなのでしょう。

おしどりマコ・ケンさんの取材からは、福島と接する茨城県の北部地域でも子どもの甲状腺がんが出ています。福島県以外の汚染地域でも検査の必要があるとの提言もありました。子どもたちの甲状腺被曝線量の開示請求後に明らかになったのは、バックグラウンドが高く測定できなかったとの記載であり、この事実からすればベラルーシのように長期にわたる子どもたちの甲状腺の経過観察が必要でありましょう。



おしどりマコ・ケンさん（芸人、記者）

放射能汚染水の海洋放出の事実からすればベラルーシのように長期にわたる子どもたちの甲状腺の経過観察が必要でありましょう。

おしどりマコ・ケンさんからは「海洋放出止む無し」との苦渋に満ちた声を「国に補填を求めたい」で海洋放出を容認する考え」とのテロップに変えて流したことから、汚染水海洋放出容認一辺倒の報道に対しては注意を要します。



司会を務めた打出喜義理事（写真左）と種市靖行理事

会を終えるにあたり、おしどりマコ・ケンさんから原発事故後からの取材を通して「未来のためには関心を持って、監視」をしていくこと、自分が分からないことは聞くことが必要、菅谷さんからは三つのお願いと「これ以上原発を作らせない、

（あつてはならないことだが）事故が起こった時の危機管理をしっかりしてほしい」「再生可能エネルギーの方に向かって欲しい」「今の私たちの（電気に依存した便利な）あり方を考えた」とのお話があり、小出さんからは「『原発』というものに頼りすぎた私たち日本人の心性の自覚」「子どもたちへの眼差しの必要性」のメッセージがありました。

今回の企画は、今を生きる私たちの在り方、そして、これからの人々たちへの私たちの責任を、それぞれが自覚しなおす良い機会となりました。

保険でより良い歯科医療を求める  
請願署名にご協力ください

隔年で取り組んでいる標記の歯科国会請願署名は、多くの会員、患者、市民の方々にご協力をいただいております。前回（2019年）も全国で約27万筆を集約し、90名の衆参国会議員の紹介で国会に提出するなど、歯科単独の患者署名としては最大規模となっています。その結果、これまでも歯科診療報酬の改善、保険給付の一部拡大等を勝ち取ってきました。

保団連では今年もこの請願署名運動に取り組むこととなりました。本号に署名用紙とリーフレットを同封しました。歯科会員はもちろん、医科会員におかれましても、保険でより良い歯科医療のため、国会請願署名にご協力をお願いします。

新型コロナに負けず、お口の健康を守るために  
保険でより良い歯科医療を

安心して歯科治療を受けられるように！

- お金の心配なく受診できるように、窓口負担を引き下げて
- 健康保険で受けられる歯科治療を増やして
- 歯科医療充実のための国の予算を増やして

歯科は感染予防の最前線

- 歯科治療でのウイルス感染リスクは高くなり、患者さんやスタッフの感染を予防
- 歯科治療では自分から感染を防ぐことが重要で、対策に努めてきました。歯科医師の感染リスクが及ぼす影響が深刻です。
- 口腔ケアでウイルスへの感染や発症を防ぐ
- 予防歯科や検診の重要性を高めるために、口腔ケアで予防を推進し、口が健康だと、インフルエンザに感染するリスクが低くなります。
- 歯周病は万病のもと！
- コロナ重症化リスクにも
- 歯周病は、生活習慣病や、コロナ感染重症化リスクとなる歯肉の炎症にもなります。歯周病の予防や治療は、歯周病に強い体づくりに不可欠です。

「保険でより良い歯科医療の実現」のため、ウラ面の署名にご協力をお願いします。

「保険で良い歯科医療」全国連絡会  
http://www.dentokai.or.jp/